

宮介専発第85号

令和2年10月吉日

関係機関各位

一般社団法人 宮崎県介護支援専門員協会
会 長 牛谷 義秀（公印略）

宮崎県自殺対策に係る人材育成研修会

「自殺者を一人でも減らすために私達ができること」の開催について（ご案内）

時下、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

本会の事業推進につきましては、日頃よりご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、この度、宮崎県の委託を受けて、標記研修会を別添の通り開催することになりましたので、ご案内申し上げます。

つきましては、チラシを同封いたしますので、広報にご協力いただきますよう、よろしく願い申し上げます。

《問い合わせ先》

一般社団法人宮崎県介護支援専門員協会 担当：小島

〒880-0001 宮崎市橘通西5丁目6-57山崎ビル4階

宮崎県自殺対策に係る人材育成研修会

自殺者を一人でも減らすために私達ができること

目 的

令和元年度の宮崎県自殺数は190名（厚生労働省発表）となっており、ピーク時の平成19年から比べるとほぼ半分以下ではあるが、以前として全国平均より高い数値となっている。介護支援専門員は、地域で介護を受けている高齢者やその方を支えている家族や地域の方の自殺予防に取り組むために、自殺の兆候や関係機関との連携の知識を学ぶためにこの研修会を企画します。

主 催 宮崎県（委託先：一般社団法人宮崎県介護支援専門員協会）

日 時 令和2年 11 月 18 日（水）13:30～15:45（※受付 13:00～）

会 場 参加者の自宅や事業所（ZOOM を活用したオンライン研修）

※参加申し込みのあった方にオンライン研修の参加方法について後日ご案内します。

対 象 者 宮崎県介護支援専門員協会の会員

宮崎県内の介護支援専門員及び医療・福祉関係者

参加費 無 料

■報 告 宮崎県における自殺者の現状等について
宮崎県福祉保健課 自殺対策担当

■講 演 「災害弱者と自殺の関連性」
講師：宮崎大学医学部看護学科 地域精神看護学講座精神看護学分野
教授 原田 奈穂子 氏



【問合せ先】

一般社団法人宮崎県介護支援専門員協会 事務局 小島
〒880-0001 宮崎市橘通西5丁目6-57山崎ビル4階
TEL0985-61-1830

略歴

原田 奈穂子 (はらだ なほこ)



宮崎大学医学部看護学科地域精神看護学講座精神看護学分野 教授

聖路加看護大学看護学部卒業、ペンシルバニア看護学部成人急性期ナースプラクティショナー修士課程修了、ボストンカレッジ看護学部博士課程修了。看護学博士。看護師・保健師

社団法人日本プライマリケア連合学会東日本大震災支援プロジェクトコーディネータ、東京大学大学院看護学科特任助教、防衛医科大学校成人看護学講座講師、東北大学大学院医学系研究科保健学専攻地域ケアシステム看護学分野を経て、現職と国立保健医療科学院保健指導分野客員研究員を併任。宮崎では宮崎こころのかまえ研究会やいろは会を通して、地域の防災力向上の取り組みを行っている。

東日本大震災において、3月14日に留学先から帰国・宮城県気仙沼市にての医療支援活動を契機に、日本の災害保健・医療分野における、人道支援における質の保証と説明責任と、緊急時支援者支援に関する実践と研究に従事。

2016年熊本地震発災後、日本プライマリケア連合学会東日本大震災支援プロジェクト派遣者として、避難所の設置や運営に人道支援における質の保証と説明責任に基づいた支援を益城町避難所対策チームとともに展開。現在も益城町産業衛生委員会アドバイザーとして職員のメンタルヘルスサポートに関わる。

WHO版災害や紛争など緊急における精神保健および心理社会的支援サイコロジカルファーストエイド認定トレーナー。子供のためのサイコロジカルファーストエイド認定トレーナー。緊急時の教育の最低基準認定トレーナー、子どもの権利保護の最低基準認定トレーナー。2013年から人道支援における質の保証と説明責任・スフィア基準の公認トレーナー。

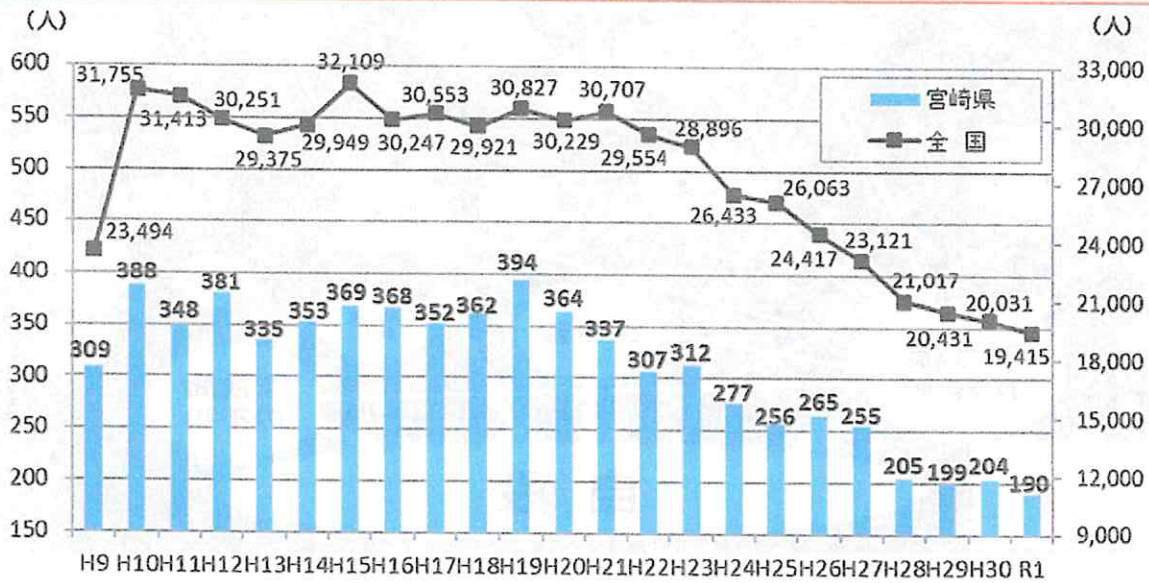
連絡先: nahokonobuta@gmail.com

ご存知ですか？ 宮崎県の自殺の現状

宮崎県では、毎年多くの方が自殺で亡くなられています。
自殺で亡くなる方を1人でも減らすために
自殺によって悲しむ方を1人でも減らすために
私たちに何ができるか一緒に考えてみませんか。

■全国と宮崎県の自殺者数の推移（平成9年～令和元年）

本県の自殺者数は減少傾向にあるものの、令和元年は190名の方が自殺で亡くなっており、全国で8番目に多い状況です。



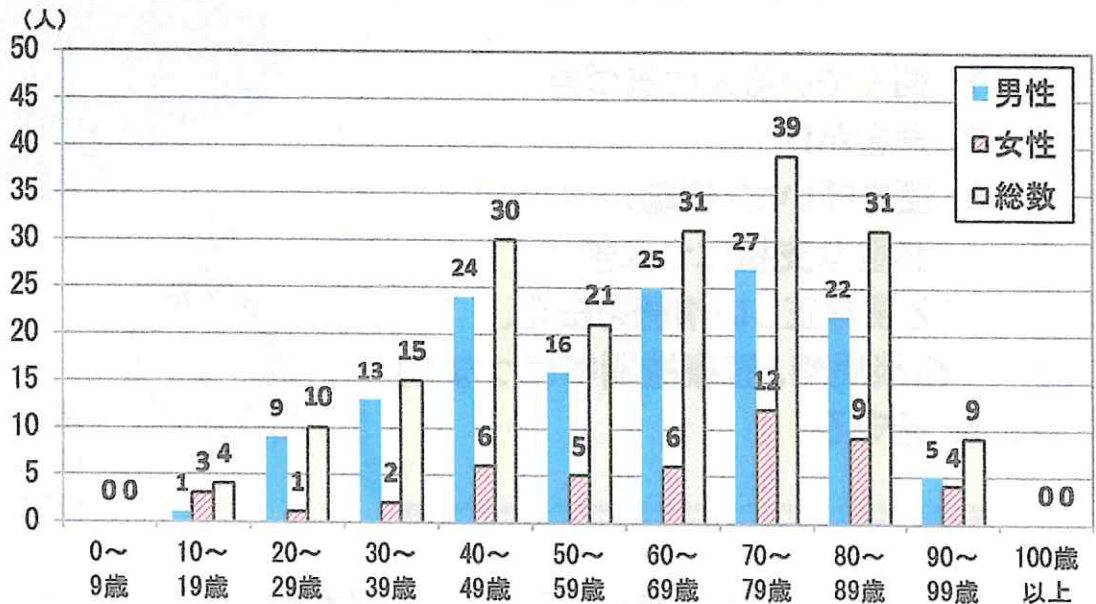
【厚生労働省「人口動態統計」より県作成】

本県の 全国順位 (ワースト)	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
	2位	4位	7位	6位	4位	6位	9位	3位	3位	11位	9位	7位	8位

■宮崎県の年代別・男女別自殺者数（令和元年）

本県の自殺者を男女別で見ると、男性の自殺者が多いです。

年代別で見ると、「70代」が最も多く、次いで「80代」及び「60代」の順です。



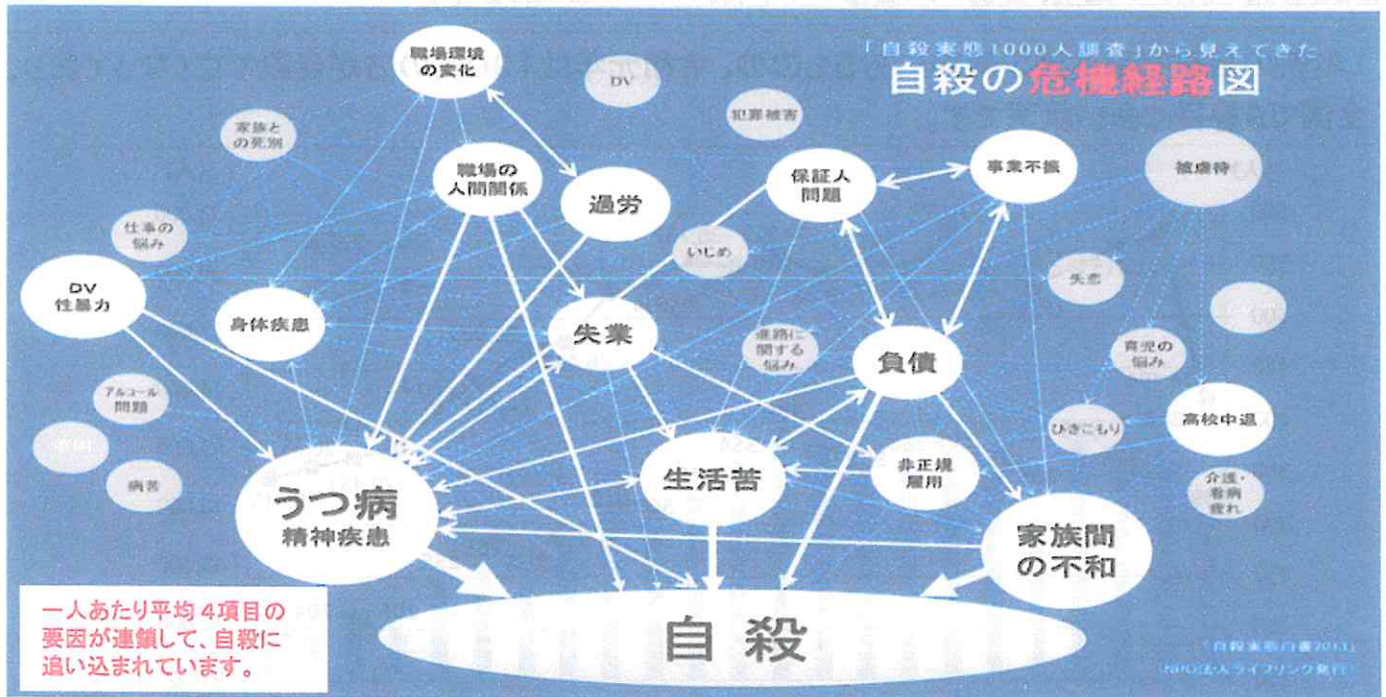
【厚生労働省「人口動態統計」より県作成】

誰も自殺に追い込まれることのない社会の実現を目指して

自殺は、その多くが追い込まれた末の死

自殺の背景には、精神保健上の問題だけでなく、過労、生活困窮、育児や介護疲れなどの様々な社会的要因があることが知られています。

自殺に至る心理としては、様々な悩みが原因で心理的に追い詰められ、自殺以外の選択肢が考えられない状態に陥ったりする等、危機的な状態にまで追い込まれてしまう過程と見ることができます。



自殺は「誰にでも起こり得る危機」です。
自殺対策では、私たち一人一人が、悩んでいる人に寄り添い、関わりを通して「孤立・孤独」を防ぎ、支援することが重要です。

私たちにできること

1. 悩んでいる人に気づき
2. 声をかけ
3. 話を聞いて(傾聴)
4. 必要な支援につなぎ
(必要な正しい情報を伝え、相談機関、医療機関等につなぐ)
5. 見守る

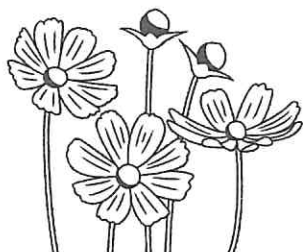
県内の相談窓口については、
パソコン・携帯で
「ひなたのおせっかい」
と検索！



宮崎県自殺予防ポータルサイト
「ひなたのおせっかい」は、
QRコードからもアクセスできます。

《問合せ先》 宮崎県福祉保健課 電話:0985-44-2660

宮崎県自殺対策に係る人材育成研修会 参加申込書



申込み責任者

氏 名 _____

所 属 _____

連絡先 TEL _____

	氏 名	所 属	職 種
1			
2			
3			
4			

後日、ZOOMの参加方法等について案内します。
希望する案内方法に☑し、アドレス又はFAX番号をご記入ください。

希望する 案内方法	<input type="checkbox"/> メール	
	<input type="checkbox"/> FAX	

※自然災害等により、本協会が研修開催不可能と判断した時は、日程を変更する場合があります。

※申込書で取得した個人情報は、本研修の運営・管理以外には使用いたしません。

《申込先》 FAX 0985-61-1832